

2021年9月22日

SAM日本チャプター会員 各位

SAM日本チャプター  
東京支部長 蛭田克美

## 2021年10月度 東京支部例会について（ご案内）

拝啓 会員各位におかれましては、お元気でお過ごしのことと推察いたします。

さて、標記の例会についてつぎのとおりご案内いたします。今回は、東京支部・石川副支部長のご紹介で、東京都のまちづくり経験をベースに、現在は幅広く災害対策に取り組んでおられる「土屋信行様」（（公財）リバーフロント研究所 技術審議役）にスピーカーをお願いしました。

今回もZoomを兼用しますので、東京支部の皆様のほか、名古屋・大阪両支部の皆様にもご参加いただくことが可能です。

ご多忙の折とは存じますが、会員各位のご参加をお待ちしております。 敬具

■日 時：2021年10月13日（水） 13:00～14:30

■会 場：東京駅サピアタワー9階 学校法人産業能率大学「セミナールーム2」

当日は、添付の地図をご参照の上、サピアタワー3階の受付へお越しください。

■スピーカー：土屋信行 様

【経 歴】博士(工学)、技術士(総合)、全日本土地区画整理士会理事

1975年東京都入都。環状七号線、環状八号線の建設・設計、つくばエクスプレス六町駅土地区画整理事業、秋葉原及び汐留再開発事業のまちづくり設計に従事。2008年、海拔ゼロメートル世界都市サミットを開催し、現在も幅広く災害対策に取り組んでいる。

【著 書】「首都水没」「水害列島」（いずれも文春新書）

【テーマ】大水害に備えたハザードマップの新たな活用

【要 点】昨年球磨川洪水では高齢者施設で14人の方が犠牲になり、令和元年台風第19号では長野県の千曲川堤防が決壊。隣接する北陸新幹線の車両基地「長野新幹線車両センター」が水に浸かり、10編成の車両が廃車になりました。これらの地域のハザードマップを確認すると、いずれも浸水区域というリスク評価が出されていました。

今、ハザードマップをどのように活用すればリスクを回避できるかを検証する。

■会 費：1,000円

■出欠の有無：2021年10月6日（水）までに蛭田までお知らせください。

※お申し込み後にキャンセルされる場合も10月6日までにご一報ください。

■Zoom情報：<https://us06web.zoom.us/j/84206480909?pwd=YlFVWnVETU5DWk5amZlYnRFZ05lZz09>

ミーティングID: 842 0648 0909 パスコード: 601545

ワンクリックで参加できるようメールのご案内に上記URLを貼り付けます。

※メールの転送などでURLがワンクリックに対応しない場合は、蛭田から再送信しますので、遠慮なくメール連絡をくださるようお願いします。

【連絡先】東京支部長 蛭田克美

〒116-0012 東京都荒川区東尾久5-12-10-506

電話/FAX 03-3819-4909 携帯 090-8478-0895

Eメールアドレス hiruta@interhuman.co.jp